

『万葉集』から見る日本の古典

獨協大学特任教授 城崎 陽子



有間皇子終焉の地・藤白

有間皇子

その1

先回は『万葉集』に載る「真間手児奈」の歌や上田秋成の作品を取り上げ、手児奈伝説がどのように享受されたかをみた。今回は、歴史と文学と伝承のはざまに位置する有間皇子の歌を取り上げてみたいと思う。

まずは、作品の背景となる有間皇子事件を追ってみたい。有間皇子は孝徳天皇の皇子で、母は小足媛。有間皇子が不幸であったのは、皇位継承権を持ちながら、後ろ盾となる父・孝徳天皇が早くに世を去ったことである。斉明天皇三年(六五七)九月、皇子は狂人を装い紀伊の牟婁の湯(現在の白浜温泉)に療養するが、狂人を装わなければならなかったのは有間皇子の政治的に微妙な立場を示しているといえよう。この時皇子は、伯母・斉明天皇に牟婁の湯の効能を説いている。

九月に、有間皇子

子、性あま点ちりくして陽狂す。云々。牟婁温泉に往き、病を療むる偽いつはりして来、国の体勢を讃めて曰く、「饒ニギハヤヒ彼の地を親るのみに、病自づからに銷消りぬ」と云々いふ。天皇聞しめして悦びたまひ、往ゆしまして親まむと思欲す。

しかし、同四年(六五八)十一月、天皇二行が牟婁の湯に行幸した留守中に蘇我赤兄の巧妙な謀略にかかり、反逆を企てようとしたとして逮捕され、牟婁に護送されるのである。『日本書紀』を詳しくみておく。

十一月の庚辰の朔にして壬午に、留守官蘇我赤兄臣、有間皇子に語りて曰く、「天皇、治らす政事に三失有り。大きに倉庫を起てて、民財を積聚む、一なり。長く渠水を

穿りて、公糧を損費す、二なり。舟に石を載せて、運び積みて丘にす、三つなり」といふ。有間皇子、乃ち赤兄が己に善しきことを知りて、欣然びて報答へて曰く、「吾が年始めて兵を用ふるべき時なり」といふ。甲申に、有間皇子、赤兄が家に向き、棧いしに登りて謀る。夾膝あし自づからに断れぬ。是に、相の不祥を知り、俱に盟ひて止む。皇子帰りに宿る。是の夜半に、赤兄、物部井連鮪を遣し、造宮の丁を率ゐて、有間皇子を市経の家に囲ましめ、便ちたす使を遣して、天皇の所に奏す。戊子に、有間皇子と守君大石、坂合部連薬・塩屋連鱒魚とを捉へ、紀温湯に送りたてまつる。舍人新田部米麻呂、従なり。是

に皇太子、親ら有間皇子に問ひて曰はく、「何の故か謀反けむとする」とのたまふ。答えて曰さく、「天と赤兄と知らむ。吾全ら解らず」とまをす。

蘇我赤兄は、斉明天皇の失政を三つ掲げて皇子に謀反の心を掻き立てさせる。二つは民の税を多く集めていること、二つ目は長い水路を掘って、集めた税を無駄に使っている事、三つめは舟に石を積んで運び、丘に成していることである。ところが、はかりごとを巡らしている間に、脇息がポキリと折れてしまった。これを不吉とした二人はそのまま別れ、その夜半赤兄は有間皇子を捉えてしまおうのである。そして、天皇が行幸している紀温湯へ、有間皇子と共に謀者を送り、そこで中大兄皇子(後の天智天皇)自ら尋問したのであるが、皇子は「天と赤兄が知っていることだ、私は知らない」とだけ答えたの

である。そして、十二日皇子は大和への帰途、磐代を過ぎたところの藤白の坂で絞殺された。時に十九歳であった。

庚寅に、丹比小沢連国襲を遣して、有間皇子を藤白坂に絞らしむ。是の日に、塩屋連鱒魚・舍人新田部連米麻呂を藤白坂に斬る。塩屋連鱒魚、臨誅れむとして言はく、「願はくは、右手をして国の宝器を作らしめよ」といふ。守君大石を上毛野国に、坂合部薬を尾張国に流す。

『日本書紀』の異伝には、謀反するにあたっては、まず「宮室」を焼き、牟婁津を抑え、淡路島との連絡を絶つといった具体的な計画が載っている。当該の事件が如何に様々な情報が錯綜しながら伝えられたかということがわかる。

高尾山の昆虫

ヒメコブスジコガネ



102

自然界には掃除屋に当たる生物がいて、動物の死骸や排泄物の処理に欠かせない役割を果たしています。もしそうでなければ森は死骸や排泄物で溢れてしまいますから、土に還す分解者としての彼等の存在はとても重要です。フン虫と呼ばれるゲルムは主に哺乳類の糞に集まる掃除屋さんですが、ツノ状突起や胸部に隆起を備えたり、寶石のような美しい体色を持つ種が少なくないのが興味深く、神様の配慮なのかも知れません。古くなった哺乳類や鳥類の死骸にはコブスジコガネの仲間が集まることが知られています。この仲間にはあまり馴染みがないと思いますが、高尾山ではコブナシコブスジコガネとヒメコブスジコガネが記録されています。ヒメコブスジコガネの方が多く、白骨化した死骸、鳥のペリットや羽毛等を好む傾向があり、小さいながら装甲車のような外見はやはり神様のデザインと言えそうです。野生動物が多く生息する高尾山ですので、土壌の精度を保つために貢献し、せっせと働いている本種の姿が目に見えます。(撮影・文 松島 孝)